

令和7年度 各教科年間指導評価計画

教科名 社 会 学年 3年 領域名 歴史・公民

月	単元名	時間	主な評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 ～ 5	【歴史】日本の近代化と国際社会 ・明治維新と立憲国家への歩み ・激動する東アジアと日清・日露戦争 ・近代産業と文化の発展	1 6 7 5 4	明治維新によって近代国家の基礎が整えられて人々の生活が大きく変化したことや、立件国家が成立して議会制治が始まったことを理解している。 日本の産業革命、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、日本で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。	明治政府の諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響や、現代の政治とのつながりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 議会政治や外交の展開などに着目して、日本と世界との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。	日本の国際的な地位が向上したことについて、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。 日本の産業革命、学問や教育の発展について、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。
5 ～ 6	【歴史】二度の世界大戦と日本 ・第一次世界大戦と民族独立の動き ・大正デモクラシー ・恐慌から戦争へ ・第二次世界大戦と日本の敗戦	1 8 5 3 5 5	第一次世界大戦前後の国際情勢及び日本の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。 日本の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、政党政治の展開や、社会運動の広まり、女性の社会的進出、大都市の発達や人々の生活様式や意識の変化を理解している。 第二次世界大戦の終結までの日本の政治・外交の動き、世界の動き、戦時下の国民の生活などを基に、戦争の経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。	世界の動きと日本との関連などに着目して、第一次世界大戦による世界と日本の社会の変化や影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 経済の変化と政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと日本との関連などに着目して、二度目の世界大戦に向かっていった理由について、多面的・多角的に考察し、表現している。 世界の動きと日本との関連などに着目して、二度目の世界大戦が起こった理由やその戦争の影響を世界的な視野で、多面的・多角的に考察し、表現している。	第一次世界大戦前後の日本の政治・社会・文化における変化について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 経済の世界的な混乱と各国への影響について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
6 ～ 7	【歴史】現代の日本と世界 ・日本の民主化と冷戦 ・世界の多極化と日本 ・冷戦の終結とこれからの日本	1 3 4 4 5	冷戦、日本の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。 高度経済成長、国際社会との関わりなどを基に、日本の経済や科学技術の発展	政治の展開と国民生活の変化などに着目して、国民生活への影響と国際平和の実現への努力などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 政治の展開と国民生活の変化などに着目して、国民生活への影響と国際平和の実現への努力などについて、多面的・多	国際社会に復帰するまでの日本の民主化と再建の過程について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 冷戦終結後の変動する世界と日本の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究し

			によって国民の生活が向上し、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解している。	角的に考察し、表現している。	ようとしている。
7 ～ 9	【公民】 私たちの暮らしと現代社会 ・ 私たちが生きる現代社会 ・ 現代につながる伝統と文化 ・ 私たちがつくるこれからの社会	10 4 2 4	現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。 現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。	少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。	私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
9 ～ 10	【公民】 個人を尊重する日本国憲法 ・ 日本国憲法の成り立ちと国民主権 ・ 憲法が保障する基本的人権 ・ 私たちと平和主義	17 4 11 2	人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。 日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。	人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
10 ～ 11	【公民】 私たちの暮らしと民主政治 ・ 民主政治と日本の政治 ・ 三権分立のしくみと私たちの政治参加 ・ 地方自治と住民の参加	18 6 8 4	国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。 議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解している。 国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
11 ～ 12	【公民】 私たちの暮らしと経済 ・ 消費生活と経済活動 ・ 企業の生産のしくみと労働 ・ 市場のしくみとはたらき ・ 金融のしくみと財政の役割	17 4 5 2 6	現代の生産のしくみや企業のしくみと役割、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働規準法の問題について理解している。 市場経済の基本的な考え方や、市場に	対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任や流通機構の変化について多面的・多角的に考察し、表現している。	身近な消費生活や流通のしくみと経済活動とのつながりについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 市場のはたらきと経済について、現代

			おける価格の決まり方と資源の配分について理解している。 現代の金融のしくみやはたらき、財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。	対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、企業の経済活動における役割と責任や、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。 対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、金融機関の果たす役割や財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
1	【公民】安心して豊かに暮らせる社会 ・暮らしを支える社会保障 ・これからの日本経済の課題	8 5 3	社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。	対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場のはたらきに委ねることが難しい諸課題に関して、国や地方自治体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	環境保全の問題、グローバル化する国際社会における日本、地域経済の活性化など、これからの日本経済のあり方や課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
1 ～ 2	【公民】国際社会に生きる私たち ・国際社会の平和を目ざして ・国際社会が抱える課題と私たち	14 7 7	世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。その際、領土（領海、領空を含む。）、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。 地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。	対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、地域紛争とその背景、地球環境、資源・エネルギー、貧困など国際社会が抱える多くの課題の解決のために、日本の果たすべき役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 国際社会の平和の維持と現代の国際社会が抱えるさまざまな課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
2 ～ 3	【公民】私たちが未来の社会を築く 【社会】3年間のまとめ	3 6		社会的な見方・考え方を働かせ、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述している。	私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

主な評価方法	定期考査、小テスト 単元のまとめ、ワークシート	定期考査、小テスト 単元のまとめ、ワークシート レポート	授業への取組、発言 宿題・課題などの提出物 単元のまとめ
--------	----------------------------	------------------------------------	------------------------------------